

續編孝義錄料

七

總記七

改九十内

共四十二

内閣文庫	和書類
三五七二架	三四五九四號
函	九〇冊

内閣文庫	番號	和 34594
	冊數	90 (7)
	函號	157 401



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



裁帝陸奥 裁後下野 岩作
肥後 吾後

中裁所之内 限与
應負其責 一以分

香河奇物看行收書

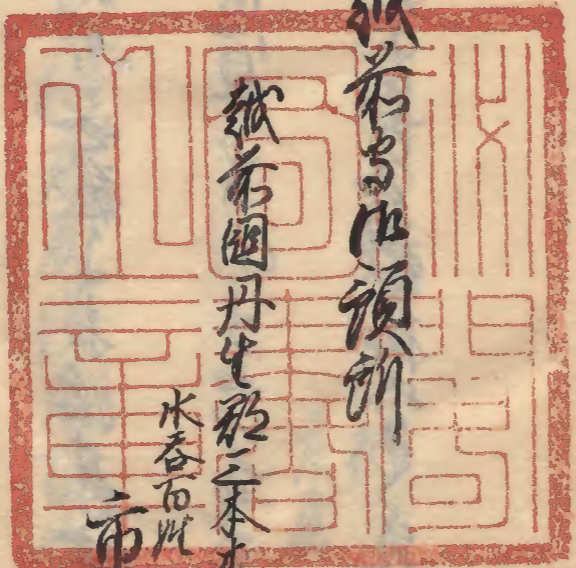
凡基定本以

水原氏家系記

水原氏家系記



松平越前守



越前守丹生郡三本木村

水原氏

市玄坊

右ノ子の父に孝人ニ越相父負家柄ノ者ニ由受
給食ホク儀ニ付人ニ在リ一由執居村ニおろ人ニ
感賞以由一由名おゆり身礼ニ上寛政十未年
十一月為慶長越前守方ノ根武拾目免也中ハ

同國坂井郡鎌倉村

庄屋

六左衛門

右より親六左衛門より尚六左衛門二代庄屋没
敷十年以来相勤也於所定初より寛政十一
未年と申介小寺村方之儀と治甚実辨と
庄屋没お勤也人極良直とりのよお守也村札と上
右同年為獲英紙希方と浪拾六と光也申

同小同郡増村

庄屋

七玄坊

右より先祖より代々村庄屋没凡百六拾年
相勤之儀希く後何種庄屋没お勤也相和
不申寛政十一未年と村方之儀と治甚実辨と
没実辨と相勤申也村札と上右同年為獲英
紙希方と浪拾六と光也申

同国同郡傍浦

長百此

一之右邊

右之浦方寛政十年年と拾六十年と百と
火災之夕度有之由是右之夕度九家数六七指
新中後焼失仕由是右長百姓之右邊の依と相
迎之ヤハハ然受難焼之由貧窮之小希之者也
之右邊の持山之松木と為之小屋子未為改申去

年年火災小も如しお持山と月便し合子八
之松木と為之者之と之右邊依仕とのとも
之拾新中と者た人教よ合と新教少と宛
尚仕是右之右邊の持山向とる分よ宜と者とも
之之山持山人插直安者之と右神女抱いぬ
夜之有之とる奇物之事と付札と之右同年
獲安紙希方と浪武指自先也

同國同郡米納津村

百此

六島在邊

同人妻

有く者先年と人言而持仕居りては此處の地も
近年より貧窮の處入致滋く暮方小此處の如
老母依十二年必希より病氣はお成るとに又
此の希より盲目はお成り老母依先年人言新

持以ぬしは希く物々を治すお成りたは六島在邊
妻も此の負を中く右貧窮の處よりお成りた老母
守り候くお成りたお成りた養育の事しは親夫婦
りのた孝ふしは仕執お成りた分粒又お成りた相違
其より希く見習ふもこのお成りた分粒の上京和
元酉年十二月為産後英紙希与方お成りた指目是也

中し

同國同形傳村

百姓

勸左衛門

有るはりの老母年来老病相煩看はれ日々
公とそく一着病はぬ一執也其の色は物
好亦有るはれ相無る百姓も此に在るはれ
公は此の老支に根を中執也其は右左衛
門越別の人柄も宜しき人柄に上りて一

正月為慶英報前与方の根指入りて光巻中

同國同形傳村

水巻百姓

甚左衛門

右よりのおる貧窮者も此に在るはれ一季在るは
お凌老父仇を請ふ中其は兼白孝公は仕平日柳
氣前にお背不中一以抱はぬ一其は兼右仇を請

享和元酉年七月初夜病仕同九月中旬病死仕
右病中老病と云ふ食事も後日にお好は成
此病中在一年と云ふも實入仕成と云ふ
骨病仕仕候中身にお乳も受込村英若村中
相違なく飯中身の中見習ふも中事
由格別評候と上右同年十二月為慶長紙前書
方分浪武指目先也

同國同郡中兵庫村
百姓

信六郎

右この養母英實母と對し孝公と云ふ
小付於又得与相乳も受込相違も云ふ
享和二年十二月為慶長紙前書方分浪武指目
先也

同出同那海浦

百此

久日節

右より親久は節の店屋役是迄に格六年相
勤代度退役相達は付長くお勤めなれ何く
況る退役後少く相礼の親の末年久安店
屋役相勤め外は勤方好悪なく私役中
代りめは為役者おましく中誤を以て役筋も

是れお勤め下候は退役仕り色中達は世者役
中より浦敷及火災は浦中焼失はあり
世より引渡ぬ抱等。親温くお筋も不仕
之程は流し格別お格相勤めより小出格は親
く上文化二五年正月為慶英載布方より根
より先達中

同国同郡野中村

百姓

久左衛門

右ノノ古来より家柄ノ者ニ代々相續ル
別ノ由メ左衛門儀人由儀ノ者ニ教奉
村方ニ在リキ儀宜ク是ノ格別ノ者ニ由メ
於又為少調由儀相遠ニ由儀ノ者ニ文化ニ
應英羽綿ニ把儀希方ノ者也

同国丹生郡之本木村

百姓

久左衛門

右ノノの弟白人由儀奉来庄屋役實相
勤由儀ノ者為少調由儀相遠ニ由儀ノ者
中分ホ由儀ノ者方宜ク由儀ノ者
十一月為應英羽綿ノ者方ノ者也

同國坂井郡西之布九村

百此

市右邊

右ノノの道百公之宜考ノ由在ルル別百養母
對ノ治事ノ事ありとお宵不中ノ九扱基沖妙
ナリ家趣お少也付るお潤め之相遠之由在ルル
乳ノ上右同年十月為獲英紙布方より根
武指目元也ヤハ

同國同郡東之布九村

百此

市右邊

右ノ右年生之宜者ノ由在ルル相調り
お遠之布在ルル乳ノ上右同年十月為獲英
金部百丈紙布方より根

同國同郡中之布村

水香百此

廣之布娘

市右邊

右儀云云後は先年病死以事一書後後家

養子之娘と五人に事あり交官官形たる村より

幸公は存り交右様とて事母に對し一書に扱會

母病氣外より交幸公行ふに神妙に抱ひしは

病氣外よりしは事公にお心抱ひのこし事り

后は存り母を病死以事一書今も母官死然事

病中一抱ひしは事公存りしは事公存りしは相

相以交相遠官存り右新令負官形成也一書分

幸物成後事右同年十一月為度長御形事

浪拾事交事事し

同國同形書信浦

石屋
右存信

日
勅三席

日
定改席

右安海浦並殺百口拾新斗有...
火災... 市百口拾新斗...
穀類... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...

同國同形同浦

百口
文九倍

世者右同形... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...

同國同形同浦

百口
改新在遠

世との... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...
... 粟... 黍... 稷... 粱... 麥...

為庶民紳士言方深誠拾遺自序

右者松平紙前古河領所紙前國丹生坂井森村之月
考以考物之者相亂中其言行狀書相認以從之者之
至其所在其材之見習或或或或或或或或或或或或或
禮員之之之之之之之之之之之之之之之之之之之之

文化八年十月

松平紙前古河

志田宗直

松平令之助江戶所
陸奥國大沼郡若苗村

百地

孫平

右之者友親好生之月孝道在之食肉衣
類亦之而福之依第事之在月之因窮者
亦才質券汝之公問之月主人之勤方大切
以之農業之働正意相勤言仍稀淡者

〜〜〜中身吟味〜上寛政六世年為廢家
沙頭方分米武儀為〜

同國同郡川村

百姓

五七

右〜老方一親と孝と〜〜之祖布〜及筋
諸人〜種族と感入及昔昔為〜〜且取
在公〜〜一箇〜も是夜不暇未働家内〜

元江末備軍牛馬〜丸扱〜至進人を既改世信
稀成昔行〜老〜中〜身吟味〜上寛政六世年
為廢家其米之儀為〜

同由舎津郡入小倉村

本地撰

元江末備

右〜の道白備軍と膝安村方法与於社内
國家安穩を祈念〜毎年伊勢大神宮

初穂を納後小で法圓恩く初お請奇物成者
くより小月吟味く上寛政又五年為慶英年
七歳為丸くい

同國同郡永田村
百姓
林く助

右くこの亡母病中く帝病用取く心せき
宜音病心せき祖母依おせよ主く老年く

鳴りて先ひを在帝く交種く心をきく大切お
扱を村内は睦愛農業に惟意お勤上納方中
公掛稀成奇物者く也身吟味く上寛政又五年
為慶英年又歳為丸くい

同國大沼郡寺入村
久左衛門下男
同村
田次郎

右くこの久左衛門方之教奉年公以女く諸事

之志忠切をおとす〜〜と病臥し苦父女抱ひ
 せし〜いた先夜中休隙に孝養深切に老扱を
 上納筋も大切よんを平日傍軍村中と睦交奇
 特産者〜中〜分吟味〜と寛政乙丑年為獲受
 米或後為老〜

同國舎津那着令村
 百姓
 〇〇〇〇

右〜の令神実忠成〜のわ〜費一着年〜り
 毎親を大切よ〜母後と先手致病死ゆ〜
 之後〜父と老〜と〜親之節他後老年
 之候中同お款〜不自由〜と〜海外居〜
 之〜病候不怠着病大切〜行〜茶利食事ホ
 之候至夜〜と〜女抱〜と〜此而親〜
 意〜お懐〜中〜祝祝〜若〜成家内〜者よお懐

中親不自由と不好極人を之と考す
り小付吟味と寛政六年為獲英氣感後
為丸と云

同本大派歌大忠村
百姓

左衛門
如ん

右の生活の苦と考すは其の苦を言ふ

指す事以希より人希難成病症と百此業も不
お水永く若痛の由一三男要く助成と片痛
小水永極く筋不強か人成き人々精力世に弱
病成く之のた投持の事一且何種用安業事
小丸掛居のた男姑く用事有く中中の節と
業の元直不建お建何成た女親と中事云
系と返りの事一勿漏機廻丸換めり中事

丈夫亦云清永く病家も退居も不致女抱い
多し貞節と云く村中も勿論一統の末く道
小も相成ゆ種あり考く申す吟味く上寛政の
為慶安末七歳力なり

同四同形入首地村分

去余本地撰

興右衛門
二曾 伴勢次

二曾 小二治

右く考る依生治実忠成考る旨悲氣憐他人備
考る考りも有く相讀筆九ゆるも相意より一光
忠成變白世一人一考りて依い無事と不安極し
い考り一親子兄弟睦愛肉沈ゆる易ゆ治大套を考る
依云く相減示不持い考り一ゆるも不着極相八袖口よ
も考る相賃素考り一考業未不働在問く考る考りも考

是々指し示し清く直く端成り不怠極め極め
親子兄弟を養ふも勤兒也之を親と養ふ也
二男二男別處に之を養ふも不怠極め極め
極め極め徳を以て之を養ふも不怠極め極め
忠業相勤ふ特徳也之を養ふも不怠極め極め
七年卒に人々之を養ふも不怠極め極め

曰國同郡東尾崎村校也

清分百此
赤吉坊父
又在坊

右之の生治実直成者之を農業も精め
治上納方他之先立相納も農隙之を讀書も習
小之妻隣村之も指南も之も之も之も之も
親類も勿論他人と對し之も之も睦安公事も亦

内所 元斗のり夜々有る色部之不抽管行
奇物成者之由は吟味之上右同年為獲受米
三俵丸丸

同出同形中井村
庄助女房
元斗

右ひすまの事之病おぬ農業之働も不相成
魚石園窮之上長病之候は日日用之元續も難

中く之在る女房共二男産次節働上は法上納方
初日よお後歳も之にお納女房と吏能病小おぬ
より格別之信合も尚亦宜いぬ一杉骨と之
飯料ハ勿論夜取ともんを付枚年之病中貞実
を乞ふ一歳隣村之者在中出稀成貞告之者付
吟味之上寛政八年年為獲受米六俵丸丸

同國同郡永井村
百姓

平左衛門

右にこの代に希とハ申越之百姓有之由是
及因窮父新左衛門彼を壯年の病才と云農業之働
ふお成平左衛門成長の才一は格之困窮者初少
く希の父子才よお成の治平左衛門平日実進成
之の才之病才之親為扶助才賣才之由一校

年来実新よお働成治の由一親依進年老衰
世の病神才才之治と好の才と窮之増漸才
判才仕終一日も不怠或夜之為信の才と夜為信不
中兼と之平左衛門才婦之若ハ見言及及後忘
以由一親新左衛門と見言及之親の由一及
源文平左衛門も相をうお米好海よ一し一船着
五板町嶮小の才一稀成孝養之者才吟味

之ノ實寛政十年年為獲英米武儀為元々

同出會津郡尾沃新田村

百姓

若十郎

同人母

中川

右若十郎儀と同村各々若十郎方ノ千武儀ノ
時より武儀又年々同質券有公以之ノ母方

儀と同郡田嶋村平八方武儀二年有公以之ノ右
友人有牛治實直成者如ノ自人之氣ノ肯儀
爰自之ノ在働借事ノ官攝睦交揚子亦一已ハ勿
論布ノ若十郎年論ノ有安事之ノ在儀在
公之儀之在油所係切ノ為始末以之ノ一運夜ノ勤
何極ノ儀有ノ山長年勞在ノ好祖母好生ノ若
永ノ在儀在之祝仁在也ノ病身ノ在儀在病

用おそくし年公く身式少く自用く百小徳切し
九扱あ人たし稀成者く中身吟味く上寛政十
十年為慶長受承入儀為九く

同出同郡令井沢村

百此 甚助

右くしらの同村あり助左邊の方し樂奏有公指
く年く公を所安又是夜物之儀意公同く九始末

ましく之藤末の女し農作精力とそしお働田
細作他し務を藝作の女し同人伴令流儀初
少く節より親甚助一同身傳或る心通中く安
左お働親子た稀成由実一統風俗之禮少も
お願の者く中身吟味く上右同年為慶長受承
或儀お九く

同國大沼郡秋津村

各々後人

六糸分限内

武糸内

右より六糸分限内は信九年の内実辨小直云々
又一福成との中々家君も云々老衰云々
病成中も云々六糸分限内は信九年
く右糸内之世信亦久年以女一実直よお勤

甚奇物成者云々信九年
并武儀為丸云々

同國大沼郡秋津村

各々後人

六糸分限内

右よりの上中川村武成内は信九年の内実辨
老衰云々病成よ云々六糸分限内は信九年
信九年福成の中々家君も云々老衰云々

引法波世信農翁特成依符之稱其多目武貴文
為丸之

秋後國魚沼那村

百姓信長海娘

てう

右りの胃始と魚翁者成之りのも七年前成年
より始神風と云々熱身不吐叶病氣附ひ不食子と
苦い山始大肥り唇文合食物に中少留り魚中本

腹中と居たらしく延る色出神と云々始大らしく
食物結丸を云々結跡山雨丸集自分結仕也
誠よは後回振波と云々外室果たよ後丸心と付二便
ともよ丸片付と云々勿論一昼夜よ二二夜と云々床と丸
智日毎よ湯を浴を云々を所解不叶と付二二夜何十
夜と云々と云々床と云々為波と云々夜と云々腹不痛和懐拍
深切と云々胃丈杯農業と云々働と云々障費と云々不云々和

一已引誘病身之姑女抱泣... 子依之也作在肉之食
事衣履洗滌おとま三人... お働病人... 自由中... 抱九扱
他之病小者引之也... 有同年来之儀お九...

陸奥国會津郡田島村

百姓半云清娘

三人

右之人親半云... 九年来... 持病...
免重り耕作... 不... 娘...

實依采和成... のやく... 聲も二人... 九...
も親半云... 入... 皆... 娘...
之者... 毒... 好... 世... 娘...
は聲も... 一人... 娘... 親... 人... 隨... 少... 受
以辨... 不... 見... 家... 同... 睦... 安... お... 又... 困... 窮... 与... 支... 食... 乞... 受
此... 乃... 大... 持... 力... 也... 是... 一... 一... お... 働... 服... 科... 亦... 終... 之... 上... 病... 人...
給... 物... 心... を... 乞... 一... 一... 又... 八... 妙... 茶... 杯... 等... 及... 此... 物... を... 乞... 求... 方

事源切に孝養を致す稀成奇持成者也
吟味く上右同年為癩疾并之儀也

秋後國魚沼郡小千代村
古師存の存子
古師七海家
44

右の老母并夫婦子依人七人
困窮者中男子成人を以て先出並夫婦

働きの家同扶助の由一
歩行不叶夜起の痛大小用む
自由被能板に扱ひ弟指心小竹
を付着病者甚と一
同年より支を留七黄瘰之病
働かぬ及極窮の由み
等右働きの支病中薬用
小竹

昔は小お成り下り夜白より限費米為給夜帳も見若
 安きく相いぬし不自由の有るも主人を致し病氣
 有りて下り下り丹波とて一被抱ゆ又去ル年八月被病死
 極難極く増相支引續八ヶ年之官室異く一殿の空
 夜白を引ひ悉皆自ら之つやと骨痛兼家事凡そ
 息お働者負荷成志く若く申之付吟味く之等九政十
 一未年為獲受米三俵力九々々

同出同形仙存

百姓之命存親
太右衛門

右之りの八十五米お成り下り若きも下り之相持言
 著抱守米倉屋方之外法親類に在職礼儀と云矣
 才一若年之由附之取上納法人より先之勿漏也大法
 親望くお守持多六石余被不持取同六人より新睦
 安農業お働分限を知り奈す万米及俵八毛頭云々

成瀬子成瀬中と平隣村とも睦友他は務し公管治者

く申す右同年為獲英米武徳力丸く

陸奥國會津郡若原村

百姓成八女房

まよ川

右くまの支店八宿所中く数年農業之働不
お成候と向備五病中く子足も一向不存付女房

是人る持言に石之半金を始末以ぬ一也年貢
之滞上納波一也一病所之支相欠之度紀衣
新く内着替二便一也一扱凡る女抱之波方新
稀成者る貞言おと一也一最甚以奇特成者那
中にお着免濫中も一也一最成者一也一付吹味之上更波
十二申年合称英米七徳力丸く

同出大派那砂子系村

百姓

勇 右

口元

傳左衛門

右に者大進言実由成者る農業お務いぬ
收納方於日布の上納いぬ一見情は遠い初年
より御年やぐ所弱よゆゆと二年御年收一
之後中勇右に御年と讓農障と九官收

相務中依は言ら農産業お務いぬ一之息お願
地大希くより困窮者るぬ人た生は實由成者
ともやぐ村内は務を耕作出務いぬ一上納
毎度村中へ先お納止ぬ依七指余業お歳年増
身弱拘ぬ不自由お成ぬ受見言く一之のた希く
町寧小ぬ抱いぬ一毎夜二に夜つても小用小紀
不火を付をより揚と申一之内も安物不談記

多し、重む渡を勇む女房小中、食食事、能
概為波弟事よんを附考、諸人より猶し出者、
中、付吟味し、上京和元酉年、之、称、災、見、方、若
そ、も、承、口、儀、為、元、之、也

同国同郡骨村

惣務清代下男

庄助

右、之、の、想、去、清、方、之、信、之、案、之、所、之、り、に、信、入、案、之、

身、之、以、多、し、之、百、源、切、之、お、勤、農、業、之、儀、少、も、不、意
自、人、之、中、付、大、切、小、秋、成、之、不、厭、相、働、志、操、別、成、者、之、
之、一、付、吟、味、之、上、右、同、年、之、称、災、為、目、之、貫、之、也
元、之、也

同国同郡那戸石村

百姓

源三郎

庄助

右よりの上の生治実由成者との極老之胃源三節
 乃之孝善おとす一丈源次第成教年教病お成
 農業之働ハ勿論自足も不自中ノ有之極窮
 之唱業用おもんをそ一帯之市年増病お成
 人前も不お成辨見苦安お成の付女房親里の成り
 何れお成行付の机中ノ中ノ中ノ交々机之極成を
 見捨之成りお成お成之中ノ中ノ農業之働女之

中ノ中ノ食お成お成之由源切之を付成八年
 余之持之耕他以之一年貢之清上納注右神老
 年之親安病成之丈日之成抱心を之一孝自稀
 成者之由之付享和一成年成佛之上為獲安米七徳力
 九之之

張後國魚沼郡小出藩村
 水呑百姓
 年九歳

右の若年之御母お果又指六年以前父は御妻と
逢ふ事お病死に由り此後又平日何事にお
ら候母の中事お肯し候事一は指是年已布女房
逢ふ事母の事お合中より離別しつゝその後再縁
し内渡有し山崎大母の事お増山連七指果よ
及少と指所中く母の事お抱に由り一は因窮老老く
日村方にお雇僅の賃銭を費遣漸と日と送りし

預小出は体子百も宿にお泊り母の横邊を伺勿偏
幸方にお雇人およはれお出は傍子に筋もお見ゆり
吉の内にお人組は若殿り候母の不自中お波る由
旨中におおをにお出は雨冷人くく世活にお出は白ハ母
く心にお出は有し候しハ老衰の候若急病若
是れ及るお女も中へ大切候依と候く奉事隣村
一もお出は預り平日におをく右に準若指孝の候

他より此の稀成考より中々吟味より右同奉令称
英米之儀乃之右より

陸奥国大沼郡大角山村

百姓借田女房

氏より

右より之の支借に所久年持病より瘵氣おぬ農業
之働おぬ成跡より前より因窮より貧乏も不況及
不女房はより後継難より惜小も種より心を月より水より

病中深切より女抱はぬより之右余より持高女是人之働
荒れ耕作はぬより上納方英法人はおぬ村内より世話より
おぬ成意皆より洋相勤村中休日小もおぬ休日夜之
他所より死毎夜作更之賃業はぬより薬代より助小
の儀より口より食お竹障より仕掛乃給より才より肌溜神
より愁より不厭支より心より疎先より至窮より嘆より水より
病中抱入小おぬ借金より分有より由治九一已より苦勞

此後一第瑞碑伝意寔に下後一稀あり貞人

う一青吟味と上文化二五年為褒英米之儀為九之

同公會津郡丹波村
百姓

平助

右一若新町村川除常法不欠換免辨古成器給合武

百八指人賃渡と右所常法改の月新町村之儀古成

一已家居防方ともお成の場不ともお成の場た多分入用と

掛自常法改の儀古成成り右一由青吟味と上文化界

年々称英米之儀為九之

戦後四国通那浦伝村

百姓源八牌

傳流

口人
女房

右一りの良因窮く百姓小育く果物と於高入後

世に波居るも父親八十歳余母八十六指歳余母八十八
年以來の神風之病お炊事も秋解ふお竹葉煎文
く食物も勿論之外好く糸の何時をも潤わ給望暑
く言ハ列るんを乾かたは母の心竹葉煎を抱きお祝
く云ふ一云ふもふお宵飯史婦たんをく孝行お云
勿論親類隣家之更睦安生治定神奇物成共
くうくお吟味く上右同年之稱矣金三女お云

陸奥金山郡水井地村

百姓

市野吉房

右一者親代より極窮之頃幼少の女親後
く身是人よお成活増殖滋よお成活農産業
お精いし一若年く初お抱具く乃お後お安る不
仕也年貢方大切よん裁日限以若上納改し十六
年己若女房引入お人よ農業実神し相勤

居る者も生れ出たての頃、困窮の中にも、
苦勞の多い一耕化の方、息出精の多い一
志事、
中村村中にも、暇なき者、
上文化に卯年之稱、
貴文の如く、

同回、
水井北村

百姓、
松原村、
百姓

右、
左、

右、
者八年、
以前、
中、
卯、
年、
之、
芸、
苑、
方、
小、
貨、
券、
在、
此、
相、
勤、
在、
此、
生、
得、
實、
成、
者、
中、
令、
議、
九、
板、
小、
心、
在、
事、
之、
中、
一、
酒、
給、
不、
中、
諸、
務、
負、
之、
名、
受、
候、
定、
而、
改、
年、
日、
和、
成、
之、
の、
後、
富、
年、
勤、
小、
心、
之、
板、
年、
末、
之、
内、
之、
不、
暇、
之、
中、
も、
之、
之、
由、
何、
故、
之、
故、
之、
人、
中、
付、
出、
候、
候、
神、
曾、
も、
之、
諸、
事、
格、
約、
の、
事、
一、
凡、
の、
根、
力、
と、
之、
一、
條、
切、
之、
宣、
相、

勤を奉り、夜中自分も村方の上紙度相
取付糸と酒をとり糸のぬきぬき何極と
主人も心を重し、夜中自分も父老年々父親近
年身弱く成り、心を安んじた先を身中々世話の
魚も菓子もとり糸のぬきぬき父老年々父親近
も心弱く成り、心を安んじた先を身中々世話の
ぬきぬき身中々世話のぬきぬき父老年々父親近

長流中おはるぬきぬきと文化又辰年為徳長英年
或懐為丸々

同出云津那十徳村

春重甚く病女房

中成

右より上の胃方古徳辰英年己未子年七十是歳
少く病死以て始も同年八月以て病氣附

年増病解おそり何病いおは村中と翔り食
事時又は何時とも食ふ好節と始く食入
食事と振替を村内と控ひおはるに先く着
不を見定者とゆりる食ふを振之後速来
治すけりゆりおとあく難治する病候ゆ
つゝ省はる海に在りし論漸有負は後
幾夜と中腰りおと或る百天と言ふ是やく

おはる病を移入本後おと持来り濡りゆ物と着替
と并連ゆり相又二夜と食事と外夜と付
分成りた候食振ゆ中ゆりおとあく、丸集振お
信ゆりた、氣よふ入言ハ後之後ゆり仕振ゆり
嬌を、丸夜中ハ別る病を後保ゆり不く歩ゆり
節ハ病と来と二候ハ等と解、己く夜震と、背負不
冷極い、おと、或る病と夜と言、抱寐、後ゆり中言

は懐中へ我財と云ふも口は能く暖く又暖か
は夜多しを扱て出立同と改歩行一夜は月夜也
贈七十二歳之姑髪は白毛と礼状も足若安也此
大坂へ神宮へ入山と大爺も九坂少も藤末
等へ極い事へ一安候も此之節へ事大申出も白
逆に申へ永く病來直候候處云々此之節へ
腎病の如く只姑へ病氣と嘆去実い事へ

好打席と物又所儀云々大小用も若あり
いへり此之節へ是等院儀候他人へ白儀
丈甚き場も不知極く是様候事へ村内市左衛
と申者下泊りよ事り此等之節二夜様候候
穢夜申の内は不入眠若小病氣候也此と候事
又夜明方にも人不知極様候候事候事候事
字為金候之立候事へ一書中二十日毎朝

六つ時已前紀多をりび新と後火を焚付姑と大
小用丸始末いさし一も時別おつぬと文甚き痛
もあつたび半一白粉や一板よぬ一是あて候文
甚き痛初りぬると一痛て中一布も不直候と好厚うん
を死り申同那思名村吉祥院と申守と之能人
小頼の言たし始末お知申物丹精とて一ぬ故
屋去卯十二月廿日次より一候と一徳方と趣去と申

病年致中候ゆ時隣村とも此に致者甚と申と
治休の付吟味し上右同年為慶英米拾俵為元
くひ

同申大沼郡高森村

名目 織玄清

大沼村名目

庄左衛門

右に者大塚敷代名目及お勤い家御物事生記

實惠之村中は和睦し方一沙上納方大切の事
お納儀之儀候と云卯年と云辰年お勤め村
是進出へ方委儀候と凡百實惠之物成者
右同年之村員候儀諸君金二百疋庄在處
金貳百
為之

中野國澄告親之儀村

百姓

文右衛門

右之者希く公國窮果此上納方八百疋
爲之も裁之忘お勤め内睦交親源在事
食物も貧窮之儀九歳候と云迄は毎夜
之を親しくお勤め八十八歳
人々此に耕作の働も不
之相上何々之種
是等何成之親
中野國澄告親之儀村

孝行書之
村中修業
老幼稀疎
米武儀為之

右志松平金之助
村之并
百姓之月

仍收書面之海

辰
九月

松平金之助
坂十郎左衛門

右一者... 楊身... 先... 出...
 困窮... 百姓... 也... 矣... 若... 年... 以...
 相... 之... 後... 母... 婦... 之... 身... 共... 之... 人... 善... 以... 在... 矣...
 困... 窮... 之... 中... 古... 母... 婦... 孝... 心... 之... 固... 人... 壯... 年...

服... 中... 督... 大... 衛... 出... 新...
 吳... 作... 國... 英... 田... 於... 七... 居... 村...
 百姓

名... 主... 清...
 卯... 六... 拾... 七... 歲...

通村之茂厥心汝一也之宛助成汝之知
之海日之志京都上登去田家上祈禱上授
振之公野上津之——音病攻以辰村及令
上之書月之志屋者之重去若公之親
通村也也書之古遠之官之在古物之汝身
實元政七年春十二月申替大補之為獲矣
多月之貴文生事之

因入世致所

英比國勝南部

吉之村

百姓

武七

外務省

右一者汝母弟之身共我人書之也之在
之今年以系父之十而攻病死存生之日
之親之孝也之也——父書果以後壽也占

昔國窮百姓之泣泣窮史婦之
之乃與親教年孝之泣泣母之
涕泣四年以系一相於子是年叶
四在祀右史婦之者之國實有
中事之古史婦之乃見昭拾歲
之節之祖母之人側之泣泣不離衣抱
泣之古材及人之書有古之泣泣

史婦之弟娘如之孝之之泣泣道村進
相之古遠之古之泣泣之人之古之泣泣
實之古之九年八月申將之補之古之泣泣
古之古之古之文之泣泣之古之泣泣

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

同出紙所

同國國勢

中河内村

百姓

庄之師

未三拾家

右者所言之水余初持為親年才味

之身在家人少人著之也古國新之百姓

山在如年未為親古孝道之義也

睦友因窮自多一日領事之役以是
 自人方奉公之切相親病所之憂
 彼等之抱病也夫此孝道第此等
 方亦中諭凡此臣報材及人尤以書
 亦當在勸孝心之起也此村近亦少
 也此等物之汝不實以十一未年八
 月生醫大痛
 一り力獲其為月之賞文生也

右五人左後筋系末切者實員相勤
 居村之向海市村之百餘元一同系法

同人出款所
 同國英田款
 上居村
 之居
 二節年
 午巳拾歲
 同國勝南款
 吉子東村
 之居
 本以之居
 午巳拾歲

臣親由外其外六丁安之重如入心之礼
禮然中涉九年肯形汝如轉自實寬政
十年年八月申督之補之為舊矣之而年上
故附上一具表之清米拾俵也

[Faint bleed-through text from the reverse side]

因入也新

因國系南條

福後村

百姓

山崎之節

未六拾三歲

右一との成業一透之酒造稼は年日
實負成りの口在也其口口極冠
村之由是し年或丈人と海野百目或は銀百目
追之返助成也後村之百姓年村及人九分

書有之他出之有助成之執之也
相違之旨在奇物之所有實見之
十未年八月書之補之為應英級附上下
一具也

同人心新

同國国歌

十二子山寺村

法部片册

同國英田歌

舍支村

春名程書

同村

幸七

辰巳拾七歲

右之人其寬以七年八月治水一初水龍
...
助成均...
...
二月...
...
...
...

...

同...
同...
同...
同...

同村

春名...

春名...

申武...

右...
又...
...

助成之親之近村迄相學本遠哉之由所託
為舊大橋者生一中心

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

同人西武新
同國同歌
福海村
名金
大田市
申辰拾歲

右一者汝以爾實負本能中神國村名
張言清上張即貴也名目五拾生一
同人一汝進年及國新以上相是石孔拾銀

汝亦指坐... 後... 書... 田... 助... 近... 村... 述... 中... 中... 申... 年... 七... 月... 書... 補... 為... 獲... 多... 人... 張... 之... 及... 坐... 中... 也

右... 者... 汝... 後... 筋... 實... 負... 中... 勤... 同... 國... 同... 部... 川... 村... 實... 村... 有... 湯... 子... 礼... 智... 以... 奉... 首... 為... 及... 上... 納... 返... 册... 汝... 余... 說... 有... 之... 是... 因... 村... 雜... 混... 之... 矣

同... 山... 新... 所... 同... 國... 同... 部... 別... 所... 村... 之... 名... 全... 申... 六... 拾... 三... 歲

近希指生 河之街 河之街 河之街
 役人 九分 書 河之街 河之街 河之街
 近村 近村 近村 近村 近村 近村
 實 實 實 實 實 實
 金子 金子 金子 金子 金子 金子

右一者 若 若 若 若 若 若
 平日人 柄 柄 柄 柄 柄 柄

同人 同人 同人 同人 同人
 田 田 田 田 田
 音 音 音 音 音
 津 津 津 津 津

年及生進沛及上納之此質素相若
風俗宜嚴材役人下書質素居於右久七
費對孝心之執之進村近亦亦亦遠之也
考物一所有實以十二申年七月申督上備
若應其人高月之賞文是

同國同歌

右一者汝家同八人等之善父母事
宜討母之教年亦育女之相成自也亦討
紀却述也同人之人之厚汝何抱農業及知務

同人出歌所
同國同歌
廣新村
百姓
弟之清
同八拾七歲

困窮之百姓之困窮也
困窮之百姓之困窮也
困窮之百姓之困窮也
困窮之百姓之困窮也
困窮之百姓之困窮也
困窮之百姓之困窮也
困窮之百姓之困窮也
困窮之百姓之困窮也

右之者及也母之孝心と因人
是教心と明老母也
是教心と明老母也
是教心と明老母也
是教心と明老母也
是教心と明老母也
是教心と明老母也
是教心と明老母也

因人の心
因人の心
因人の心
因人の心
因人の心
因人の心
因人の心
因人の心

及承銀子汝助成以度古五村及人共古書
若工他若助汝助成以親之近村也相字
相遠也言在考抄之度有享和二戌年
八月廿五日補方力應天紋附上下一具也
中

同入也新
同國英回款
倉敷村
店屋

右之者汝致年汝能實員及出務同村
之度之少系之店屋與人之知材同能其作
公事汝知亦少之對材方之入組公事

仲次希
戌三拾三歲

入札扱不徒九年号也困之月享和二年
分中智之浦古為獲火之紋附上下一具屯

中

同人之新

同人之新
同人之新
同人之新

同人之新

忠

同人之新

忠

同人之新

右一者... 考作一粒也

及風渴の如早連糸穀水辺助成は辰材役人
下り以書月不仲書の忠古爲の力之市辺助成
以趣々通村述亦少相遠も之言在書特々
後月享和二戊年八月廿日勢大輔公力儀長
金子部百文先卷一の中

同入の
同入の

同人
同國贈南苑
宮山村
百段
七八
戊辰拾九歳

右一者戊午日實負農業及水務同國同
善本村在書又書困窮一始末及水
邊子辺助成は辰材役人其書背云

西郷公夫人八幡成均の御長直村近相学

お送りし書状は在る物に御存意和二感奉

八月廿七日補分力儀書欠合字部百文生

中

今更書欠九十七文

西郷公夫人
御長直村近相学
御存意和二感奉

因人心新

因因因

是七村百姓

仔之帝輝

平吉

成秋拾歳

右一者汝生得實員之与親孝心と云

兄弟睦友一和申言親類并后村明友

更之直書書欠之成之至直汝知轉后村役人

くもり書付と云居知い奉古孝心之執
近村進も中少くも遠之に在る奇物之成有
享和二年八月申替大補分如後受之旨
之賞文是し中い

奉
大
補
分
如
後
受
之
旨

右ノ者成小言之困窮之身之親
之九節之心と云一舟抱之農業及如精
夜分遠く之業細工均右亦之價云

同人也新
同國同家
宮山村
百姓
片之助
成之拾善歳

相傳古遠也古名先奇物
所育享和之多年
二月廿七日補之
力獲之
同日部員文也

中山
蘇州十日
...

...

...

同人
...

同國英田
...

倉浦村
...

百姓
...

理助

第七拾五歲

右一者
...

...

...

乙酉年文化之盛年七月廿七日
應以人自之貴晉文書

...

...

同人四啟
因四勝南歌
岩見田村
百姓

久之清
庚辰拾陸歲

右之者汝生得實負之所法修前德
古書農業及初結親
之身質素中書隣村
...

...

孝心希貞實之純也
近村述中
孝心之純也
近村述中
孝心之純也
近村述中
孝心之純也
近村述中

孝心之純也
近村述中
孝心之純也
近村述中
孝心之純也
近村述中
孝心之純也
近村述中

同人
國國
服是村
百姓
源在書
生天拾三歲

如之若也。一。身之志。業乃如。極。經。之。
 身上一。以。續。計。文。而。親。力。甚。青。緣。有。之。是。
 亦。及。物。中。母。汝。之。身。之。自。也。不。計。而。知。
 胡。著。心。可。以。任。事。業。一。以。後。材。役。人。之。身。
 書。有。志。在。於。心。以。孝。心。之。執。之。道。材。役。
 相。以。中。道。也。之。以。在。於。身。之。以。有。文。化。之。意。年。
 分。中。替。補。之。為。應。以。之。身。之。自。文。化。中。心。

同人曰

因

與

百姓

之

黃

右。一。之。平。日。實。自。志。業。乃。如。極。計。文。光。
 母。汝。身。一。自。也。不。計。而。知。朝。暮。心。計。
 以。如。厚。存。心。之。身。之。後。材。役。人。之。書。有。之。志。

唐公之少而孝心之純之進村述其學
其遠也之而其在考其所以文化之其年七月
中務之輝之乃之優其之其月之其文也

中山

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

同山新

同國英回

余受村之助後家

未也

寅正拾陸歲

右一者成生得實負之曾姑也事方官受
村姑成其年病身之定給也之病也之視
万端心之明然相去也史也助成也長病也如
和果之述源切也之其後材及人下之書其志

居世以子之貞實一類一近村並相受
中道後之在考物一所有文化之實年
七月申督大補分高應受之自之實文造
中

同人之誠
國國國歌
七居村
名

右一者汝及筋如結未動也誠新法助奉
觸元材後子相勤之上款場川法并外
村方如入筋他所披合示其斗方匡也也國

同人之誠
國國國歌
七居村
名
安之清
外居拾或歲

少と相背り申す福方は五ヶ節に諸人賜れ
お働用事師匠は色を侍母は侍婦と尋
程又母好物は五ヶ節に不勤何れ自身は五梅万幸
仍舊少程の御も母は身代を以て仕向奇持
し者へ後村の隣村也と風流は各村役人
申す相違お申すは方へ殿次分寛政二四年
三月申す為儀是名目お黄文書申すに

一 持言の石是斗六年之合

同國同族同村

侍臣而

右侍臣而汝生質心紙成との言農業御社
御年貢納方人知仕教年々召諸納物村内
一者皆御仕其外諸に後村役人中有通が
之点申動為親存生し因り孝のしと云

村月事。在成山。子。辰村役人。在申出。江
中。送。中。受。山。岩。主。殿。以。方。實。政。之。亥。年。四。月。休
為。慶。免。白。銀。部。投。奉。中。日。

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

因國於信願村

石姓
以家為中房
子津

本。中。津。母。及。幼。年。之。上。第。台。病。身。三。世。羅
成。任。所。之。不。定。近。送。一。者。小。池。上。居。名。是。以。有
日。一。食。物。亦。有。中。津。方。名。之。送。在。抱。河。以。知
天。明。八。申。年。中。母。之。格。亦。歲。之。育。月。在。成。山。殿

改原居事一六女抱雛行在史以書其言
貧窮者言世作五成業以有以方和禮上其
離別水川依流代松之申一以成其成留子
其人貫子御勤以宋採山中業又一日雇
穠仕教之申酒之誠實源先教類上
酒母之書中之事之文川穠如留事以成
在成之原松祖母隋原在是清水之上古源之

又之相系一暑中一海邊一子之接系暑者之海
知雅一公母一孝公一具之公母諸之孝公之
之一一以成材因之申一統考特存初未是是後
材及人其申出之相透亦申中一以考之成以
寬政之亥年四月申為舊史之有月之貴文

卷中之

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

因國因於子備村

百姓

茂也

茂也

茂也

一 持らるる年八合 但願家床

右 茂也君也知少之時より父相果好く一所

子とて漢業渡世に仕負ふ古書中より祖是矣

とも、貞實系和樹生質云母也何松一幸

中よりた少し相背り中母一公治し且他

漢業系より始りて其の末に漢方といふは其の
母之例と雖も其の徳と一厥之由行に漢可と
母の善言は先夫の徳を孝の志を隣村
中より凡そは良材及人尤中其に其邊
に其の善の徳より實の民之を其年日月年
為其徳より其月之善の文先生なり

同國同教同村

一物と云

貞孝

右貞孝の母其婦を人より其の國に漢業
或は口履秘は其の貞孝の徳を其の生質に
其の諸人其の徳を其の徳に其の徳に
初より其の時より漢秘小系より其の母より其の貞孝

取し中一は侍と外系米抄得母幼く母年々
 病身中成以後程又長母一好むとて
 何事も限及少世活は師と母と奉之愛
 務身と上上礼是又人切乳及奇特成と
 之辰村同家には名材及人心中如之相違
 相才と名之成以り寛政六年六月申
 為儀之入書同之黄文堂中

因國國歌並地集村
 二名全

一持与成春名穿之布衣 中西成儀

右成儀 彼右親下孝の 志多 母と寛政
 十三年八月十日歩以之親成四ノ江は
 衣成儀 成衣所成 衣多 今成事 業美
 二便の 中一 徳世活は 成儀 用事

中者之 漢福は海内家用の世話ははは
兼右の所成の野畑と比り或は日雇稼
賃者との所愛取の賃綿と後母の盲目
才成善育は上に加市市師道と元之味縁
種古為也且又先先祖の年忌未と種縁
の年分は所業の所成然は善仕は所業
の善縁は所成壯年の時分縁の善縁者も

之の親類も之の縁は所成は所成
母子盲目の善縁は所成之の親類は
幼弟の所成は母徳は所成は所成
奇特の所成は所成材没人は所成は所成
お母の所成は所成享和の善縁は所成
為徳の所成は所成貴文は所成

全

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 拾与八市八分
同國同於同村
而姓
佐年去

本 佐年去 茂 同村 百姓 勸 助 者 光 正 佐 年 去

別 先 仕 佐 年 去 多 与 由 親 國 居 在 左 右 親 母 与

拾 与 年 以 為 且 年 与 佐 光 父 年 四 年 而 茂 親 之 食

年 与 与 礼 与 亦 成 婚 与 家 内 亦 居 亦 中 兼 助 与

作年方完之洞之拾男拾一亦至親性返江破
比之少夜又起下市通仕家月入以多之
火小水出掛着仕替時之油以未成市中以若
作年之滿至夜隨原居某周中七若仕以多
收氣不仕知少之使松也見以初作年去成田細
小指中不越以少之父親歸之追隨原集りり男
場前と身之果杯杉友父と休能了り合

到仕仕事之親我務之幼子一亦仕也多幼の
逢年之到人と逢多し若く之除彼是仕
人之後れ毎七日暮之色仕謝之親言父之終
之若く或時之末は事一亦仕也且月師中
以若く仕事と心違而且親分仕年去
活夜不仕貴之夜入中一以有毎夜活夜仕
又脚以少之仕年去成り起上り家業仕謝

家内夜火之始又記上り火と横七二便
稱之仙年之自所流澤均於夕給也礼
心及多々一皆散返所掛りし事し而欲海法年々
銘此は右之通八十年之官又病年若以は
以礼享和元而年父死去は之由又先業助之も
睦友仙年之り此見方は之り之威在處
見中多々一執事而死後之威材及人其り也

家内遷相也其り之威材及人其り也
中一為禮文之月之貴文也其り也

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly vertical columns of characters.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly vertical columns of characters.

一 持言七年

同國同於同野の同村

百姓 之 考

右に記述せしむる自實との科他如社は世承
承手入能は毎年人々先上納は且中の
只今先年五束母斗を一礼孝心
平日を為成服言よと紳の帝母好との

自... 法... 產... 母... 進...
若... 別... 親... 母... 法... 自...
法... 第... 志... 厚... 之... 貴... 之...
膳... 母... 切... 法... 享... 和... 元... 年... 仲...
母... 病... 死... 之... 親... 法... 之... 救... 亦... 後... 法...
子... 之... 人... 切... 骨... 痛... 法... 之... 善... 生... 子... 亦... 母...
午... 病... 死... 法... 之... 親... 法... 之... 救... 亦... 後... 法...
子... 之... 人... 切... 骨... 痛... 法... 之... 善... 生... 子... 亦... 母...

物... 法... 母... 文... 後... 村... 役... 人... 九... 年... 乙...
午... 病... 死... 法... 之... 親... 法... 之... 救... 亦... 後... 法...
子... 之... 人... 切... 骨... 痛... 法... 之... 善... 生... 子... 亦... 母...
為... 後... 法... 之... 貴... 文... 生... 一... 乙...

又年亦級別。贊於終。身即家內
之。此之。麻食。治和。其。傳。時。所。中。品。在。知
家內一統。親之人。知。此。之。也。又。長。病。心。定。知
和。傳。亦。意。取。少。七。小。難。階。深。之。上。也。身
病。江。口。乃。其。善。生。少。亦。行。喜。和。二。成。年。口。月。年
又。死。去。江。口。右。和。其。傳。是。少。人。多。一。知。一。統
贈。友。亦。吾。知。其。傳。亦。多。知。有。一。後。材。口。之

風。其。江。口。乃。其。善。生。少。亦。行。喜。和。二。成。年。口。月。年
又。死。去。江。口。右。和。其。傳。是。少。人。多。一。知。一。統
贈。友。亦。吾。知。其。傳。亦。多。知。有。一。後。材。口。之
其。亦。其。傳。亦。多。知。有。一。後。材。口。之
其。亦。其。傳。亦。多。知。有。一。後。材。口。之
其。亦。其。傳。亦。多。知。有。一。後。材。口。之

之仕村役人其進之難候之由の在救方元斗中
 方一統お取ひの執お守中にお守を爲候と寛政八
 辰年秋中お續方中渡り初も多分と候後奇
 指仕奉り物との候村役人中にお守相違お守
 ゆい守之度改め享和二年申月申陣危困進
 進く事の中村の

因圓因於鬼池村
 一向宗光明寺二曹
 惠 亮

本一僧と親中孝心は在り寛政及び元斗年申
 元斗は後別之文と人切は年常一食事
 とし中人は在り申中一食事御座候と申事
 温敷事及佛事申事申事申事申事申事申事

叶 孫 九 年 病 卒 歿 八 十 有 二 未 為 傳 服 業
 二 便 一 得 之 且 自 身 行 之 尤 孝 一 介 於 此 日
 世 之 責 及 元 而 年 之 始 死 是 父 之 節 節 節 節 節
 連 年 之 老 衰 壯 壯 壯 壯 壯 壯 壯 壯 壯 壯 壯
 膝 安 法 人 一 一 更 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 村 及 人 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事
 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國

一 抄 三 年 中 亦 非 豐 七

右 豐 七 歲 美 年 之 頃 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 家 日 之 人 向 合 員 友 亦 智 也 知 如 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

買米如也中進耕作之障之曰雇稼如也
稼如也先之與類不振也曰自之流中
母產持歸中進不日雇稼あり母一
中身母一曰之與子耕豊也若也
取作物之流中母一人之之
流中一人之之出入也
此は親類之助也他人と入る一母一

公事行成下之と為難し一辰中一
不仕妹也之兄一孝行と兄母万事
母下能仕家内睦友家業如結上奇物者
一辰材及人九中一之相遠也其の
文化元子年六月中五月之賞文生

中

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly vertical columns of characters.

國國然國行

百姓
利之書中房

右利之書中房子之習法亦子何取多各
身之由名習法之由名書法之取子之
取法之由名習法之由名何計之少之
少在平乃習法之例之不離於書記外

酒と好氣強健く申す曰く酒と酒と能く是
之と母成と知れ及母と世に仕侍る
家内職及事務者一院材役人
中書、左中書、右中書、左中書、右中書、左中書、右中書、
十月半、多田之商文生、中書

同國同族同町

一持与之平之弟九合

同國同族同町
百姓

志以爲

右長男、成、負、新、高、の、漢、業、系、日、産、福、業、は
之、日、産、名、之、者、由、江、流、又、之、先、年、病、死、仕、母、と
一、新、子、生、出、知、名、親、又、婦、之、の、所、考、の、志
之、一、新、子、生、出、知、名、親、又、婦、之、の、所、考、の、志

母一人初仕家内出入一室之延以接存仕也
家内膳部也此は此處未だ女唐氏並年盲目也
未成内院也此中此は此處未だ母也
之指也中別と延に此扱す初成者後
村没入此中此は此處未だ此處未だ此處未だ
二成身之月半高月之賞文也

一 指高此處未だ

國國政府所
大板尾
德也

右德也而此處未だ此處未だ此處未だ
此處未だ此處未だ此處未だ此處未だ
善子成子此處未だ此處未だ此處未だ
所係此處未だ此處未だ此處未だ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly vertical columns of characters.

一 持之斗之合

同四回致同所

百姓

周七

右周七は其疾新とのに漢業并日雇稼後母
は此之入と先年病死は母之國居に至孝以
て志多し朝夕一合事小徳氣と附相至
て即万事の事丁寧に及ぬ内如入部

日雇祿亦月 右實錄光日之酒用母
中道系月出入之友母法接好は万事
丁寧之礼及歸京交 膳表之指成との殿
諸人中之言打及人 中事之相違亦少
此月王殿氏之文化之良年之月申之旨同
之實文也

同國分國所高
本島妹
子

右中子法入之先年亦果以九本之唐方上
子之立之方同町伊能之中者娘之後史儒
之病中某用之向備之印百事心之等之
町等之介抱仕之乃其書生之亦竹伊能成死左

仕以不吏死後人年之衛方也門孔母一訓
 之至氣光母孝行之志多一朝夕食事
 能之氣之存母也進之市力事叮嚀
 孔投兄事之禮也建仕家門睦友誼家
 文少未也實之也之也物者之疾人之中心
 岩村後人心中也之相遠也也之也之也
 文化之良年之月也之也月之實文也也

豊後國門見歌小持
 百姓
 利助娘
 弟人系

有少子又利助成儀高志石志年余新持
 子成之人也一師也一日嫁也也也
 子師一親親也也也也也也也也也也
 次男也也也也也也也也也也也也也也

中身斗一御世は居ぬ親を病
打針を走し有妹なる人 農業
牛を文新のは居妹川走耕他之男
即甲余隔り山牛常系新侍採採
中し禁火を親の坐坐と為使介抱し
透して機減長冬之親を親と
食めし成物と連立示しと親と相違
身ハ

藤食給家業切所年有村入用
之親又親長病を親と親と
節一入用也と兼て用意は言わ
方親一は成有有自之親親
は言ふ事不賀北中言親親も相
食親一も他人夫入百一と親
時と有也と親親之幼小門

おを自分とて存命に成す少お用を親好あり
夜中も及力の程を不建酒おを或半と奉
武里余も隔の山野に系菊依採貯重冬中と焚
火とぬぬに室を亂とぬ後夏に因る耕作出終
夜ぬ親に敷と述ぬぬ大切に着病仕と身は根
難仕と寸先忙奉に初聲とぬ中名親親はぬ
幼ぬぬた多窮にぬぬぬぬぬぬ上他人とぬぬ

親にぬぬ不計時とぬぬ中親親に幼ぬぬ在
者ぬぬ無急仕ぬぬ父母た先年死去仕ぬぬぬぬ
物ぬぬぬぬぬ村役人た先ぬぬぬ支配中ぬぬ實政六
年室十一月也代官菅谷ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, appearing as ghostly vertical columns of characters.

豊後國速見郡演服村

一持言武斗部外七合

百姓
仙吉
為台

右仙吉為言及若年、頃、西親、若心、世、在、如、
父、之、以、年、病、在、仕、母、之、女、之、若、一、所、在、至、實、政、
九、己、年、育、母、中、風、在、如、紀、母、之、疑、計、自、身、二、夜、
之、世、信、其、事、可、事、也、然、外、抱、仕、母、好、事、也、何、事、

右志松平之度改也新也後國豊後國材
孝公又と人插宜耕他出務救示先出以分特者
此代官新の言獲安有のの并御歌所成
之敬改分獲安也の者仍状書而の通也

文化六己年二月

松平之敬改家来

神谷 貞

DOORIN 坊



